

令和5年度事業計画

人生100年といわれ、高齢者の就業意欲が高まってきております。正にシルバー人材センターの果たすべき役割です。

小山町シルバー人材センターに於いても、福祉の受け手では無く、社会の担い手として、長年培ってきた知識・経験・技術等を生かし、就業し収入を得又後進に伝授する事も、地域社会に於ける、大事な貢献・活性化だと思えます。

しかしながら、現状は、会員皆様の平均年齢の上昇・会員数の減少それに伴う、収入減が顕著です。令和5年度は、前年度より厳しい予算を組まざるをえない状況と成っております。平成24年7月に公益財団法人に移行して、11年目を迎え、より一層公共性を高め地域社会に貢献して、町民・企業・関係諸団体から更なる信頼が得られる団体とし設立の趣旨である「自主・自立・共働・共助」の基本理念に基づき、事業の積極的な展開及び会員数拡大を図ってまいります。

1 基本方針

- (1) 安全就業の徹底
- (2) 派遣事業の推進
- (3) 会員確保の推進
- (4) 就業開拓の推進
- (5) 普及・宣伝活動の推進
- (6) 研修・講習事業

2 事業実施計画

(1) 安全就業の徹底

- ① 「安全は、全てに優先する」をスローガンに、就業中及び就業途中の事故防止に取り組みます。
- ② 安全委員会による安全パトロールの推進を図ります。
- ③ 新入会員説明会や安全講習会の場を利用して安全就業についてのPR

を図ります。

- ④ 安全標語の募集を行い安全意識の徹底と向上を図ります。

(2) 派遣事業の推進

法令遵守による適正就業がもとめられていることを踏まえ、派遣事業に積極的に移行し、且つ新規開拓に努め、一人でも多くの会員が、就業出来る様に推進していく。

(3) 会員確保の推進

期待されていた団塊の世代の入会者が少なく、在籍会員も年々減少傾向にあり、会員の平均年齢も少しずつ高くなっています。

植木・草刈り・草取り等の職群が特に高齢化しており、このままでは受注しても消化出来なくなる可能性があります。また、継続就業の会員についても、交代要員がいなくて契約を遂行出来なくなる状況も考えられます。

会員の確保については、町の広報誌への掲載、各種催しでのPR活動のほか、役職員・会員が一人一勧誘の気持ちで、友人知人への働きかけに努めます。

(4) 就業開拓の推進

就業開拓と会員の確保はシルバー事業を進めるうえでの最重要課題であり小山町からの協力を頂きながら、会員・役職員が一丸となり新規契約先の開拓をしてまいります。従来のお客様については、今まで以上に訪問を重ね情報収集を行い就業開拓に努めます。

(5) 普及宣伝活動の推進

公益社団法人として地域社会で理解され、又ご利用頂く上でも、社会奉仕活動に積極的に参加してまいります。

富士山一斉清掃への参加、又各地域毎の清掃・草刈り・植木の剪定等の

奉仕活動を実施すると共に、諸行事への、一般町民の今迄以上の参加を、広報誌の活用や、会員からの呼びかけを行い、普及宣伝活動に努めます。

(6) 研修・講習事業

昨今の当センターが抱える諸問題・今後の課題等を解決していくために、先進地を視察研修し、会員・役職員の見識を広め、センターの発展に寄与したい。又派遣会員のキャリアアップ研修の他に、一般会員を対象にした、「マナー接遇・各種技能講習等」の講習会研修会等を開催し、会員の技能向上スキルアップを図り、各々の意識向上に繋げたい。